

●日本生理学会「若手の会」活動報告

日本生理学会若手の会 代表 小泉 周 (慶應義塾大学医学部生理学教室)

2001年3月に、日本生理学会若手の会では、これまでの組織を改変し、より多くの若手に企画運営に参加してもらい分業して運営する体制を整えました。とくにこれまでは東京に集中していた世話人を、より広く、全国から募集しました。結果として、現在、さまざまな地域、大学、研究機関の若手大学院生を中心として活動しています。これによって、より活発に多種多様な企画をたて、しかも、それぞれのメンバーが責任をもって、企画運営に積極的にかかわるようになりました。

現在、企画として動いているものは以下の通りです。

- (1) 生理学会大会におけるシンポジウムの実施 (担当世話人：井上 (生理研)、宮下 (香川医大)、徳永 (東北大)、小泉 (慶應大))
- (2) サマースクールの実施 (担当世話人：松田 (東京医科歯科大)、安松 (東京大))
- (3) 高校生むけセミナーの実施 (広島での学会大会前日に、広島県内の高校生むけのセミナーを行う。担当世話人：小泉 (慶應大))
- (4) 生理学若手合宿の実施 (広島での生理学会大会後に1泊2日の日程で、20人ほどの若手研

究者で合宿を行う。担当世話人：宮下 (香川医大))

- (5) 生理学会による生理学教育に関する情報シェアリングの促進 (渋谷まさと先生 (昭和大学医学部第2生理学教室) との共同提案)

このように、企画ごとにメンバーが集まり、ディスカッションをしながら、企画の立案から運営までを行っています。

今回、この誌面にて、(1) 2001年3月に京都での学会大会におけるシンポジウムの講演内容のご紹介 (辰巳先生、松下先生、菱田先生) と、(2) 2001年8月に慶應で行ったサマースクールの開催記 (松田、安松) をお届けいたします。どちらも、普段の学術シンポジウムでは聞けないような失敗談や、挑戦的な仕事について、中堅および若手研究者を中心として語っていただいたご講演です。多くの方々に足を運んで見に来ていただくことができました。

最後になりましたが、これまで多くの生理学会会員に叱咤激励いただき、また、お世話になり、大変感謝しております。今後とも若手の会の活動をご支援ご指導いただければ幸いです。